

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2005-118214(P2005-118214A)

【公開日】平成17年5月12日(2005.5.12)

【年通号数】公開・登録公報2005-018

【出願番号】特願2003-355158(P2003-355158)

【国際特許分類第7版】

A 4 7 C 9/10

A 4 7 C 4/28

【F I】

A 4 7 C 9/10 Z

A 4 7 C 4/28 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

座面部分と後方に傾斜する背面部分とを布体で形成する折畳みチェアであり、脚構成に、

それぞれ略上半分が前記背面部分の左端および右端を支持し、下端がそれぞれ前方足部となる左長脚体および右長脚体と、

それぞれ前記左長脚体および右長脚体の略中央に一端が回動可能に取り付けられ、前記座面部分の左端および右端を支持する左座面部材および右座面部材と、

を有し、左長脚体と左座面部材、および右長脚体と右座面部材が、それぞれ折り畳み可能であることを特徴とする折畳みチェア。

【請求項2】

脚構成に、それぞれ一端が前記左座面部材および右座面部材の前方端部に回動可能に取り付けられ、他端が前記左長脚体および右長脚体の前方足部に回動可能に取り付けられる左前柱体および右前柱体をさらに有し、該左前柱体および右前柱体が伸縮可能な構造であることを特徴とする請求項1に記載の折畳みチェア。

【請求項3】

座面部分と後方に傾斜する背面部分とを布体で形成する折畳みチェアであり、脚構成は、左脚構造、右脚構造、後方脚構造、左肘掛け構造、右肘掛け構造および前方脚構造からなり、

左脚構造は、略上半分が布体の背面部分の左端一辺を保持可能で、下端が左前足部となる左長脚体と、一端が該左長脚体の略中央に回動可能に取り付けられ、他端が左後足部となる左短脚体とからなり、

右脚構造は、略上半分が布体の背面部分の右端一辺を保持可能で、下端が右前足部となる右長脚体と、一端が該右長脚体の略中央に回動可能に取り付けられ、他端が右後足部となる右短脚体とからなり、

後方脚構造は、一端が左長脚体の上部に回動可能に取り付けられ、他端が右短脚体に回動可能に取り付けられる右下がり後脚体と、一端が右長脚体の上部に回動可能に取り付けられ、他端が左短脚体に回動可能に取り付けられる左下がり後脚体とからなり、右下がり

後脚体と左下がり後脚体はその交差部で相互に回動可能であり、

左肘掛け構造は、下寄りが伸縮可能な構造の左前柱体、布体の座面部分の左端一辺を保持可能な左座面部材、左肘掛け体、左リンク体とからなり、

左前柱体の下端は、前記左長脚体の下端に回動可能に取り付けられ、他端寄りに、左座面部材の前方が回動可能に取り付けられ、左肘掛け体は、後方が左リンク体の一端に回動可能に取り付けられ、前方が左前柱体の上端に回動可能に取り付けられ、左リンク体の他端は、左長脚体の略中央に回動可能に取り付けられ、

右肘掛け構造は、下寄りが伸縮可能な構造の右前柱体、布体の座面部分の右端一辺を保持可能な右座面部材、右肘掛け体、右リンク体とからなり、

右前柱体の下端は、前記右長脚体の下端に回動可能に取り付けられ、他端寄りに、右座面部材の前方が回動可能に取り付けられ、右肘掛け体は、後方が右リンク体の一端に回動可能に取り付けられ、前方が右前柱体の上端に回動可能に取り付けられ、右リンク体の他端は、右長脚体の略中央に回動可能に取り付けられ、

前方脚構造は、一端が右前柱体の上寄りに回動可能に取り付けられ、他端が左長脚体の下端に回動可能に取り付けられる左下がり前脚体と、一端が左前柱体の上寄りに回動可能に取り付けられ、他端が右長脚体の下端に回動可能に取り付けられる右下がり前脚体とからなり、左下がり前脚体と右下がり前脚体はその交差部で相互に回動可能であり、

左長脚体の略中央に、左座面部材の後方が回動可能に取り付けられ、右長脚体の略中央に、右座面部材の後方が回動可能に取り付けられ、左長脚体、左座面部材および左肘掛け体と、右長脚体、右座面部材および右肘掛け体とが、それぞれ折り畳み可能であることを特徴とする折畳みチェア。

#### 【請求項4】

左前柱体および右前柱体は、下端が左長脚体または右長脚体の下端に回動可能に取り付けられる棒状部材と、該棒状部材の外形よりも大きい孔を有し、該孔に棒状部材が軸方向にスライド自在である芯空部材とからなる伸縮可能な入れ子構造であることを特徴とする請求項3に記載の折畳みチェア。

#### 【請求項5】

前方脚構造および/または後方脚構造が、一方の脚体の中央に他方の脚体が貫通する孔構造または凹構造を有し、該孔構造または凹構造を通り両者を連通する軸で相互に回動可能であることを特徴とする請求項3に記載の折畳みチェア。

#### 【請求項6】

座面部分と後方に傾斜する背面部分とを連続する布体で形成する折畳みチェアであり、

脚構成は、左脚構造、右脚構造、後方脚構造、左肘掛け構造、右肘掛け構造および前方脚構造からなり、

左脚構造は、略上半分が布体の背面部分の左端一辺を保持可能で、下端が左前足部となる左長脚体と、一端が該左長脚体の略中央に回動可能に取り付けられ、他端が左後足部となる左短脚体とからなり、

右脚構造は、略上半分が布体の背面部分の右端一辺を保持可能で、下端が右前足部となる右長脚体と、一端が該右長脚体の略中央に回動可能に取り付けられ、他端が右後足部となる右短脚体とからなり、

左長脚体の略中央に、前記座面部分の左端を支持する左座面部材の一端が、回動可能に取り付けられ、右長脚体の略中央に、前記座面部分の右端を支持する右座面部材の一端が、回動可能に取り付けられ、左長脚体と左座面部材、および右長脚体と右座面部材が、それぞれ折り畳み可能であることを特徴とする折畳みチェア。

#### 【請求項7】

後方脚構造は、一端が左長脚体の上部に回動可能に取り付けられ、他端が右短脚体に回動可能に取り付けられる右下がり後脚体と、一端が右長脚体の上部に回動可能に取り付けられ、他端が左短脚体に回動可能に取り付けられる左下がり後脚体とからなり、かつ、いずれか一方の中央に他方が貫通する孔構造を有し、該孔構造を通り両者を連通する軸で相互に回動可能であることを特徴とする請求項6に記載の折畳みチェア。

**【請求項 8】**

左肘掛け構造は、下寄りが伸縮可能な入れ子構造の左前柱体、布体の座面部分の左端一辺を保持可能な左座面部材、左肘掛け体、左リンク体とからなり、

左前柱体の下端は、前記左長脚体の下端に回動可能に取り付けられ、他端寄りに、左座面部材の他端が回動可能に取り付けられ、左肘掛け体は、後方が左リンク体の一端に回動可能に取り付けられ、前方が左前柱体の上端に回動可能に取り付けられ、左リンク体の他端は、左長脚体の略中央に回動可能に取り付けられ、

右肘掛け構造は、下寄りが伸縮可能な入れ子構造の右前柱体、布体の座面部分の右端一辺を保持可能な右座面部材、右肘掛け体、右リンク体とからなり、

右前柱体の下端は、前記右長脚体の下端に回動可能に取り付けられ、他端寄りに、右座面部材の他端が回動可能に取り付けられ、右肘掛け体は、後方が右リンク体の一端に回動可能に取り付けられ、前方が右前柱体の上端に回動可能に取り付けられ、右リンク体の他端は、右長脚体の略中央に回動可能に取り付けられることを特徴とする請求項 7 に記載の折畳みチエア。

**【請求項 9】**

前方脚構造は、一端が右前柱体の上寄りに回動可能に取り付けられ、他端が左長脚体の下端に回動可能に取り付けられる左下がり前脚体と、一端が左前柱体の上寄りに回動可能に取り付けられ、他端が右長脚体の下端に回動可能に取り付けられる右下がり前脚体とからなり、かつ、いずれか一方の中央に他方が貫通する孔構造を有し、該孔構造を通り両者を連通する軸で相互に回動可能であることを特徴とする請求項 8 に記載の折畳みチエア。

**【請求項 10】**

左肘掛け体と、左リンク体と、右肘掛け体と、右リンク体と、その他の構造とからなる折畳みチエアであり、

左肘掛け体は、後方が左リンク体の一端に回動可能に取り付けられ、前方がその他の構造に回動可能に取り付けられ、左リンク体の他端は、その他の構造に回動可能に取り付けられ、

右肘掛け体は、後方が右リンク体の一端に回動可能に取り付けられ、前方がその他の構造に回動可能に取り付けられ、右リンク体の他端は、その他の構造に回動可能に取り付けられることを特徴とする折畳みチエア。

**【請求項 11】**

下寄りが伸縮可能な構造の左前柱体と、左座面部材と、左肘掛け体と、左リンク体と、下寄りが伸縮可能な構造の右前柱体と、右座面部材と、右肘掛け体と、右リンク体と、その他の構造とからなる折畳みチエアであり、

左前柱体の下端は、その他の構造に回動可能に取り付けられ、他端寄りに、左座面部材の前方が回動可能に取り付けられ、左肘掛け体は、後方が左リンク体の一端に回動可能に取り付けられ、前方が左前柱体の上端に回動可能に取り付けられ、左リンク体の他端は、その他の構造に回動可能に取り付けられ、

右前柱体の下端は、その他の構造に回動可能に取り付けられ、他端寄りに、右座面部材の前方が回動可能に取り付けられ、右肘掛け体は、後方が右リンク体の一端に回動可能に取り付けられ、前方が右前柱体の上端に回動可能に取り付けられ、右リンク体の他端は、その他の構造に回動可能に取り付けられることを特徴とする折畳みチエア。